

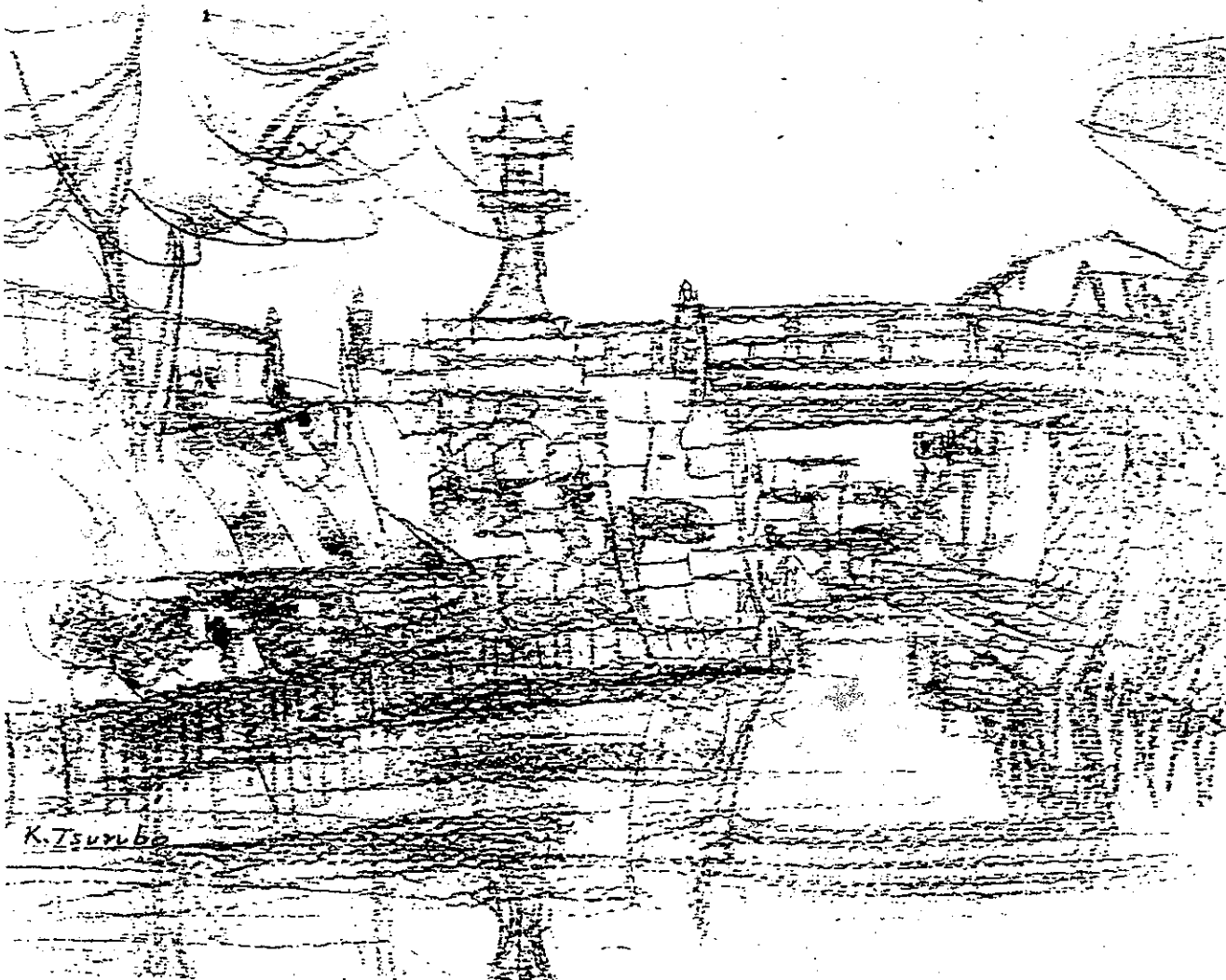
平成 7 年 6 月

あすなろ

発行所
近江八幡商工会議所婦人会
住所 近江八幡市桜宮町231-2
TEL 0748-33-4141

第 2 号

発行責任者 村井照子
会長
編集責任者 井上和子
広報委員長



花

村井照子

垣の木に ささやく如く 降る雪に
戦なき世の 幸せ思ふ

湯煙の中、ガラス越しに垣根に積もる雪を眺めながら、下手な短歌をひねくり、しみじみ平和の時代を羨しんでいた二日後、あの神戸を襲った直下型地震、そして私は直下型『シリモチ』

あれから四ヶ月余り後遺症に悩まながら神戸の人たちのことを思えば幸せと日を送る毎日。

何かと暗いニュースが報道される今日この頃、私は、先日宮尾登美子さんの『蔵』を読みその主人公「烈」の生き様に大きい感動を受けました。私たちに「高い」と言う打ち込めるものがありました。

如何に世間が暗くとも庭には石楠花が咲き、ツツジが花開き、サツキのつぼみもほころびはじめました。

花たちも昨年の猛暑、水不足の苦しい時を乗り越え美しく咲きほこり、

五ヶ月間の思い出

井上和子

あなたが我が家へやって来たのは、お盆も過ぎた八月十九日のとても暑い夜の十一時前でした。地球儀でしか見た事のない、スウェーデンから交換留学生として来日したあなたを、私は家中の電灯を全部つけ、花を活け、精一杯の歓迎の気持ちで待ちました。空港まで迎えに行った息子達と一緒に純日本風の我が家へ金髪で、青い目、一九〇cmの長身を折り曲げるように入ってきたあなた「こんにちは、マティアスです」とだけ言って私の手をぎゅぐゅ握りましたね。私は英語が話せず日本語で遠い処へよく来たね、待つてましたよ。」とだけ言ってあなたの手をぎゅぐゅ握り返しました。

言葉も文字も生活習慣も解らない、ましてや一人の知人として居ないこの近江八幡市の田舎へ。ただたいとして、涙があふれませんでした。「こんにちは」「ありがとう」の二言しか日本語が話せなかったあなた、そのおかげで私は手話とゼスチャーが、とても上手になりました。そして英語も少しね。

翌日の歓迎パーティの席へは英語の話せる友達に通訳をお願いして、家族構成やこれから通学する学校の事、日本の文化等を説明して頂き、あなたの緊張や不安を取り除こうとしたのです。

「五人の男の子を育てたベテランのお母さんだよ、安心しなさい。やんちゃもしない」と言ってもらったら、安心したのかとても嬉しそうなお顔をされたのを忘れません。一日一日と驚くほど日本語を覚え、よく私をからかい、爆笑の毎日でした。

教えない事、つれて行きたい所、食べさせたい日本料理と想像ばかりで、仕事も有るし、すると「お母さんは仕事と家事とボランティアととても忙しい大丈夫？」と心配してくれた優しいあなた。登校前、時間が無いのにのんびりと支度しているのを見て、

私たちの目を楽しませ、暗くなりながら世の中を明るくするよう懸命に咲いてくれるのです。
さあ！会員の皆様、私たちも地元の花になりましょう。（但し私は、コンナ花何時までも置いてけば来年咲かないからとブツンと切って捨てられるしなびた花でしようが）
そこで又、下手な一句。

葉桜を 紫に染め 日未だ淡し
五月雨に 一際映える 紅かなめ

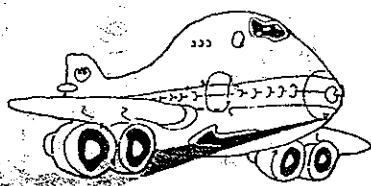


「マティアス さっさとしなさい。遅刻よ。」と言っても通じず「ショートタイム」「タイムアウト」とあらゆる単語を並べたのも今では笑い話です。

クリスマスは十人の家族とスウェーデンのお友達を招いてとても楽しかったね。あなたからもらったプレゼント、私の生涯の宝物です。

帰国する七月迄、沢山日本の文化を勉強して下さい。学校の先生始め大勢の人達の好意と協力を決して忘れる事の無いようにねそれから私以上に井上お父さんは、あなたに事故や病気の無い事を願い、わが子以上に心配し、責任を感じていた事を解っていましたか？

最後にあなたの涙ぐましい程の日本を理解しようとする努力に敬意を表します。
スウェーデンの御家族に宜しくお伝え下さい。
どうぞお元気で、さようなら。
そして沢山の思い出をタッキー！
(スウェーデン語でありがとう)



井上お母さんより

婦人会に参加させて頂くようになって早や一年半が経ちました。初めて入会のお誘いを受けた時は、実際に婦人会がどんな活動をされているのか何も知らなかったものですから、席だけならと思っ

て入らせて頂いたのです。日頃は家の仕事に追われてあまり外に出る事が少なかったものですから、とても世間の狭い私でしたが、婦人会に仲間入りさせて頂いたお陰で、いくつかの行事にも参加させて頂く事が出来ました。

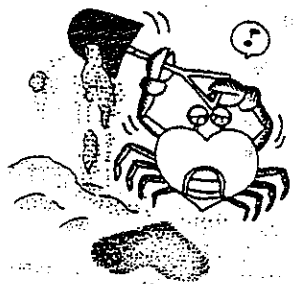
(除草作業や講習会、料理講習会に新年会、陶芸の里での作陶会等々です)

中でも九月の和歌山リゾート博会場での近畿商工議所婦人会の総会に寄せて頂いた時の二日間には私にとってはとても意義のあるものでした。

何にもましてどの集いも和やかな楽しい事ばかりだったので、今では入会させて頂いて本当に良かったと喜んでいきます。

今年商工議所婦人会発足五周年目だと聞いております。

これからも皆様との集いがより一層楽しいものであります様、又一人でも多く参加されます方が増えますように願っております。



女性のファッションについて

田村俊子

近江八幡商工議所婦人会の機関誌「あすなろ」が昨年一〇月にささやかな、けれども力強さを感じさせる会誌として発刊されましたことは皆様の記憶にも新しいことと思います。

今年、当会も早や五周年を迎え、それも同時に第一号を会員の手で作るに当たり、少しずつでも、内容を充実させていき、皆様に楽しく読んで頂ける誌になればと願っています。

この誌に私なりのファッションの一部について記させて頂くと思いますが、今年になって阪神大震災、サリン事件、田高と世の中が大きく変わらんばかりの事が次々と起り、ファッションどころではないわよと云われそうな状況ですが、今日、ファッションの流れも戦後より三〇何年、あらゆる面で日本が変化した時代に平行し、女性の着る物も、和服から洋服へと移行して行き、そんな大変な時代でも女性はそれなりにお洒落を楽しみ、はしゃぎながら夢を追っかけて来たんじゃないかなと思っつのは、今日の彼女達のファッションに対しての成長から想像できる様です。今、世の中、次々と色んなことが起こりますが、それに対応しながら男性と同じように職場で頑張っている彼女達にとって、ファッションは一番身近でお金の使い方と工夫が必要な部分で、ライフスタイルに合わせて楽しく賢くなりました。

その様な流れの中で、私がファッション販売をしながら感じます事は、今まで被褥袋、パーティー等はやはり和服又はドレスそれに代わる礼装と云った正装で出席でしたが、少し前より、色物スーツ、ドレッシィーなスタイルのワンピースにアクセサリをあしらひ、今までの街着、外出着の洋服を格上げして着用するよう



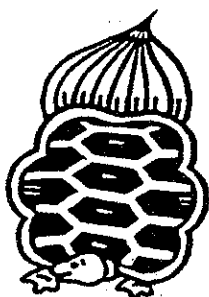
今日、この頃

小野喜代子

つい昨日の様だと思っていた平成も7年目に入り、年始めからあまりよくない事はかりで何となく笑いが遠のく様に思われます。わが家も年末に父の弟、そして一月には母の弟と二人のオジが亡くなり、そのショックで両親が急に悪くなり、入院するという最悪の事態になりました。幸い軽かったので三月始めには退院出てきて、家で看護するようになり、二月月足らずになります。

初めは大変だなあと思っ日もありましたが、病院の先生方や看護婦さん、そして、保健所や社会福祉センターの皆様のお力添えのお陰で気分がよい日は絵日記を書いたり歌を歌ったりして、少しでも楽しく過ごす事に心がける様お互いに頑張っ居ります。

八七才と八二才の両親には色々心配ばかりかけ通してましたが、今は皆んな元気で幸です。姉妹四人、力を合わせて看護が出来、二人も病氣は辛いと思いますが、きっと又、素晴らしい日が来る様に願っている毎日です。



に徐々に変わって来て、この様な変化も彼女達のお洒落に対する工夫、知恵がTPO上手にさせてきた結果の様に感じます。

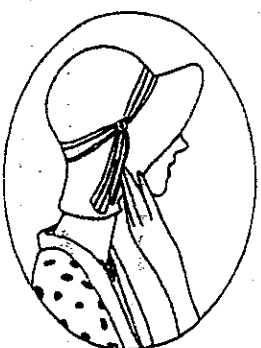
この様に街着がパーティー着になり、普段着が通勤着に格上げされてきますと、経済的で応用範囲も増え、出費は少なくともお洒落が楽しめるようで一石二鳥に思えるのですが、この格上げには、帽子、靴、カバン、アクセサリ類と云った小物達の役割のウェイトが高くなり、彼女達をキュートでセンスのあるレディに変身させてくれます。

けれども、小物達は、ベースの洋服以上の金額になる事も多く、これらをセンスよく自分の個性に合わせて求めるのにお金がかかります。

海外旅行は買物旅行なんて云われております。自分さうまく表現でき、買い物にお金を使い、欧米ファッションの本当の良さを持った小物を見つけて頂ければと思います。

欧米ファッションにまだまだ信仰的な所を感じる日本女性ですが、追いつけ追い越せ精神で、いつの日かコピーでない日本女性なりのファッションを作り上げて行く事と思っております。

ファッション販売を通じて少しでも皆様にお役に立つ事が出来る様になればと思っております。





藤居久栄

藤居久栄

一月十七日、朝方、ミンミンという音で目が覚め、あっ！ひどい地震と思い、静まるのを待っていたら、神戸（西区）に居る息子から「ひどく揺れたやろ？生きてるでー」とそれだけの電話後は通じません。

オーバーな人や思いテレビでもとスイッチを入れたとたん、NHKのあの場面。思わずあぶないあぶないと叫んでしまいました。

時間が経つにつれて、犠牲者は信じられない数に。道路、鉄道、家屋、ビルは見るかげもありません。現実にはテレビで見ているような生やさしい事ではなかったとのこと。本当に恐ろしい体験をされた方達に、早く立ち直ってもらいたいと思います。

商工会議所婦人会でも義援金を募り送金されました。

この地震で数多くのことを学びました。

自然の力の大きさ、恐ろしさ、人間のつくった物はひとたまりもないこと。たくさんボランティアの手助け。受ける側の感謝

の気持ちの大切さ。日本の若者を見直された方も多かったでしょう。「何処へ行くの？」と聞かれる近所づき合いの大切さ。人は人として生きることはできないとどこかに書いてありましたが全くその通りだと思えます。

阪神大震災、大きな信用組合の破綻、今度はサリン、最高の円高、次々と大変なことが起ります。

早く静かになって景気が良くなりますように！

全国商工会議所婦人会連合会では「阪神、淡路、大震災義援金」の募金活動が実施されました。

当婦人会も新年懇談会の席上にてご協力頂き、73,300円の募金を致しました。

全国312の婦人会から22,622,724円の義援金が集められ、被災地の商工会議所を通じて地域の復興に役立てて頂いております。

皆様のご協力に対し、ここに改めて厚くお礼申し上げます。

今、五取り返つて

西田富美代

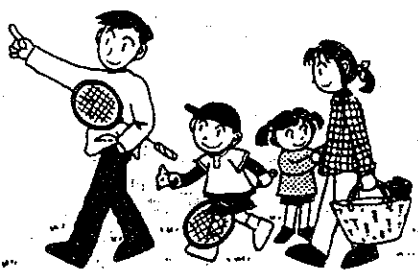
私には息子二人、娘一人の子供がおります。

過去、二八年間深く思い出すことは長男九才、次男五才の折「お母さん、お兄ちゃん、メンコ買わはった」さあ 大変。小遣いも与えてないのに！二人の息子の前で大事に大事にしているメンコを焼却炉で燃やし、ケース入りの辞典で長男を力まかせに叩き、夕闇の中、二人に一〇キロメートル走らせ、主人が掃宅するまで玄關に立たせておきました。後日、テレビの上に小銭を置いておく私も悪いと反省。

又、次男が一〇才の折、ちょっとした事件があり、ここでけじめをと、おしりを出させ、はえたたきで力まかせで叩いたこと。

長女が生まれ、女の子には手を出さないように思っていました。幼稚園と小学生の時、一回ほど平手打ちをしたことがありました。又、次男が一〇才の時、実家の母が「どうしてそんなに怒るのや。怒ることではないのに」と。「うちのお母さんは気分次第で怒らるのや」と。この時ほど子供の方がずつとずつと冷静で内心はずかしい思いをしました。

長男が高校の時、クラブで試合の折、お弁当代、一〇〇〇円渡し、「今日何を食べたの？」と尋ねると参加費が一〇〇〇円と言い、昼食は食べてないと。問わなければ今日までわからずじまい。ここで怒らなければならぬと思った時は、強烈にをモットーに駈けを走ってきたつもりです。



商売で夕方遅くでなければ掃宅しない母親のかわりにそれぞれ手伝いをし、自分のことは自分でしなければ前に進まないことを充分解っている様でした。

いろいろな出来事を思い出すと、いとおしくて涙が出てきそう

な。これも年のせいでしょうか！
教育雑誌によると母親の好ましくない多用語、ベストエイトは「汚い」「危ない」「みっともない」「やかましい」「散らかしている」「早く」「下手ね」「何の役にも立たない」子供が自ら興味を持って物事に取り組むようになるためには、幼児期にほめられたことの心地良さを味わっている事が必要条件で、やる気の基になる。心地よい言葉が家庭にあふれているだろうか。それとも注意と文句ばかりであろうか。主人にもあてはまる？
若いお母さん方、又、私の年令では孫にもう一度見直してみたいと思います。

現在、長男二八才、年一回海外旅行をプレゼントしてくれ、次男二五才家業と一緒に、長女二〇才社会人一年生。家事は当番制に分担して楽しくやっております。幸せな毎日と感謝して商売に頑張っております。

各委員会のご活躍を期待しています!

	会 員 名
第1委員会 講演会	◎小宮 林英代 ○川村西田尾賀繁子 苗 尾村 岩山 佐本 愛 田中久梅 川島木 子田
第2委員会 見学会奉仕作業	◎小藤 林千鶴子 ○大橋 福本 村井光 小 井川 富深 永福 井上美江 塚本 子
第3委員会 バザ -	◎清川 水崎 ○脇坂 田村 上阪 和 田 喜 多 中 八 重 子 岡 野 広 瀬 西 憲 子 喜 多 平 田 藤 木 奥 野 中 西 子
第4委員会 新年懇談会	◎随井 ○平井 中川 尾賀明子 竹内 八田 久保 田田 畑木 中 西 藤 居 梅 村 菊 枝 木 村
第5委員会 広 報	◎井上和子 ○竹山 西川 辻川 小野 村井 照子 千賀 森川 小 官 中 森 和 田 賀 奥 村

◎委員長

○副委員長

人 権 啓 蒙

偏見に気づこう この目で この耳で



編 集 後 記

緑の風にのせて「あすなろ」
第二号をお届け致します。

ご寄稿をお願い致しました皆様
お忙しいのに快くお書き頂きました
誠心誠意に有り難うございました。

やせ、オウムだ、サリンだ、
バクバツだと世の中ほんとに騒が
しいことでございます。

仕事だ、行事だ、カルチャード
と慌ただしく日が過ぎて行きます
が、コツコツと努力すれば明日こ
そは良い日が来ると信じて、前向
き(のつもり)に頑張っ居りま
す。 どうぞよろしく!

竹山 芳子

